

# マイク分配装置

## CX5570 (親機)

## CX5571 (子機)

### 取扱説明書

このたびは、マイク分配装置 CX5570 (以下、親機) CX5571 (以下、子機)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

お買い上げいただきました製品に、万一ご不審な点、お気付きの点などがありましたなら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

株式会社 CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>

Printed in Japan 2019/07

74CZ851110

## 安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後はいつでも取り出せる場所に保管してください。

### 絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

	禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
	分解禁止		注意		感電注意

### ⚠ 警告

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。
- 当社指定の電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
- 当社指定の電源ケーブル以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、機器を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



### ⚠ 警告

- この機器は防水構造になっておりません。機器を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を直接かけることはしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 機器の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源ケーブルを抜いてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源ケーブルが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルがこの機器の下敷きにならないようにしてください。ケーブルに傷がついて、火災・感電の原因となります。ケーブルの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



### ⚠ 注意

- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



## ⚠ 注意

- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源ケーブルを抜き、外部の接続線をはずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずケーブルの端子を持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。



## 取付の注意

本機の据え付け場所を決定する際には、次の点に注意してください。

- ストーブ、スチーム、ヒーター等の発熱体の近くや日光の直射を受ける場所は避けてください。
- 極度な振動・衝撃を受けやすい場所は避けてください。
- ケーブルの配線が容易な場所を選んでください。
- 操作のしやすい場所を選んでください。
- 振動に充分耐えるようしっかりと固定してください。
- 電源ケーブルは赤線を+極に、黒線を-極(アース)に接続してください。

### ② マイク接続端子

マイク&スピーカー (CMP500) またはスタンドマイク (CSM500) を接続します。

マイクケーブルを延長して接続する場合は、規定の長さ (30m 以内) の LAN ケーブルを接続してください。

### ③ 無線機接続端子

無線機を接続します。規定の長さ (15m 以内) の LAN ケーブルを接続してください。

### ④ 電源ケーブル

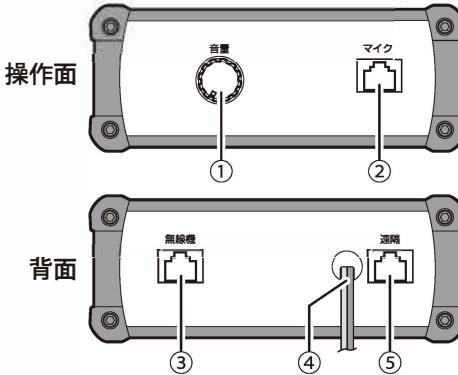
直流(DC) 12 V 系または 24 V 系の電源を接続します。これ以外の電源には絶対に接続しないでください。

### ⑤ 遠隔接続端子

子機を接続します。規定の長さ (60m 以内) の LAN ケーブルを接続してください。

## 各部の名称と動作説明

### 親機(CX5570)



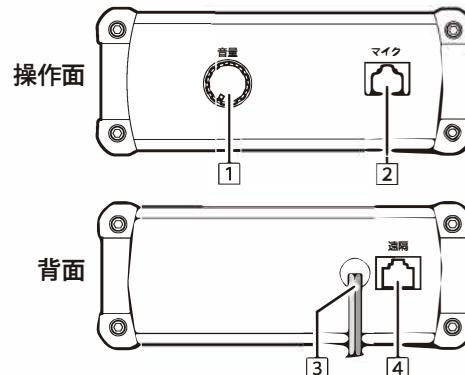
### ⚠ 注意

- マイク & スピーカー (またはスタンドマイク)・無線機・親機・子機の接続が終わっていることを確認してから、無線機・親機・子機の電源は入れてください。
- 親機の電源が切れている状態では、子機は動作しません。親機の電源を入れてから、子機はご使用ください。

### ① 音量(電源)ツマミ

このツマミは、親機の電源の入・切と音量調整を行います。ツマミを右(時計方向)に回すと電源が入ります。さらに右に回すと音量が大きくなります。ツマミを左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。さらに左に回し切ると電源が切れます。

### 子機(CX5571)



### ① 音量(電源)ツマミ

このツマミは、子機の電源の入・切と音量調整を行います。ツマミを右(時計方向)に回すと電源が入ります。さらに右に回すと音量が大きくなります。ツマミを左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。さらに左に回し切ると電源が切れます。

### ② マイク接続端子

マイク&スピーカー (CMP500) またはスタンドマイク (CSM500) を接続します。

マイクケーブルを延長して接続する場合は、規定の長さ (30m 以内) の LAN ケーブルを接続してください。

### ③ 電源ケーブル

直流(DC) 12 V 系または 24 V 系の電源を接続します。これ以外の電源には絶対に接続しないでください。

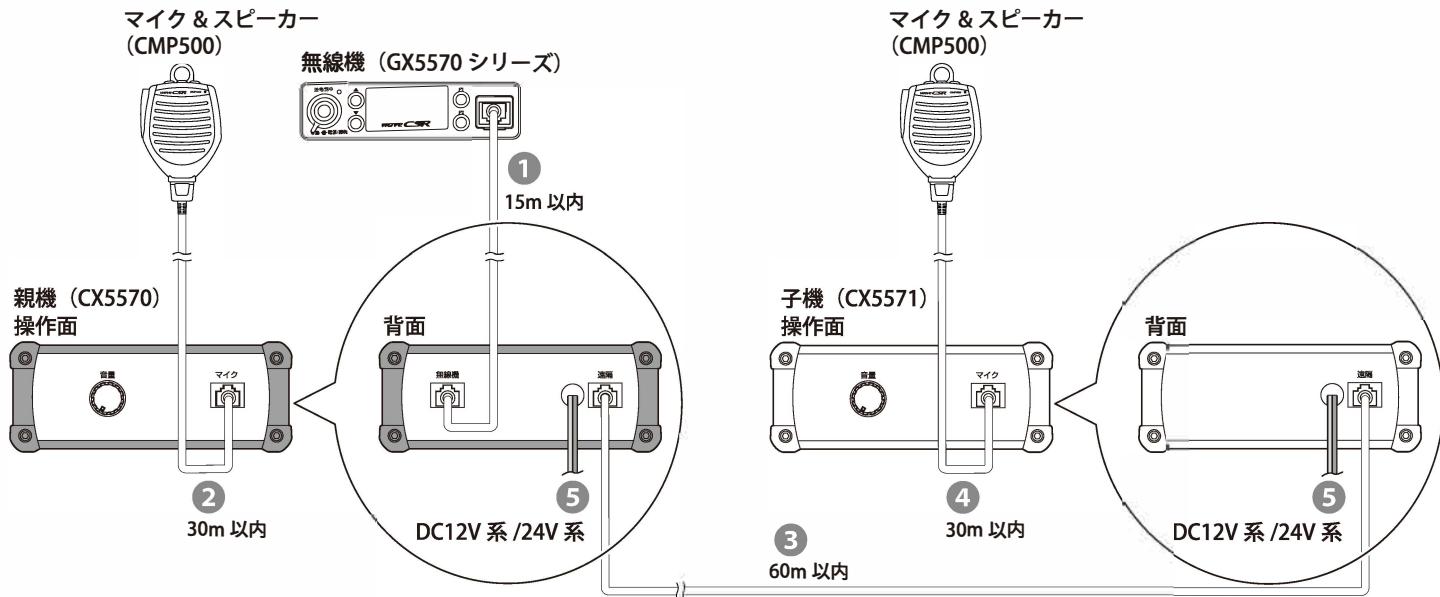
### ④ 遠隔接続端子

親機を接続します。規定の長さ (60m 以内) の LAN ケーブルを接続してください。

# 機器の接続

マイク分配装置(親機 / 子機)を無線機とマイク & スピーカーあるいはスタンドマイクを接続することで、1台の無線機を2個のマイク & スピーカーあるいはスタンドマイクで通話が可能となります。

## 親機と子機およびマイク & スピーカー (CMP500)との接続例

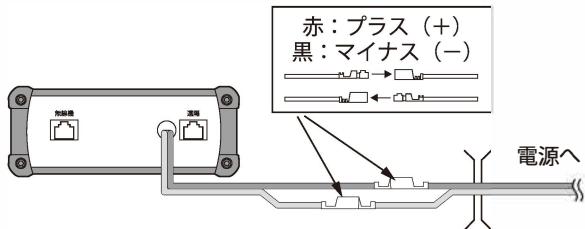


### ！注意

- 接続用 LAN ケーブルはストレートタイプ、CAT (カテゴリー) 5e 以上をご用意ください。他のケーブルを使うと、誤動作の原因となることがあります。
- マイク & スピーカー (またはスタンドマイク)・無線機・親機・子機の接続が終わっていることを確認してから、無線機・親機・子機の電源は入れてください。
- 親機の電源が切れている状態では、子機は動作しません。親機の電源を入れてから、子機はご使用ください。

## 接続方法

- 親機の無線機接続端子と無線機を LAN ケーブル(最長 15m 以内)で接続します。
- 親機のマイク接続端子とマイク & スピーカー (CMP500) を LAN ケーブル(最長 30m 以内)で接続します。
- 親機の遠隔接続端子と子機の遠隔接続端子を LAN ケーブル(最長 60m 以内)で接続します。
- 子機のマイク接続端子とマイク & スピーカー (CMP500) を LAN ケーブル(最長 30m 以内)で接続します。
- 親機および子機の電源ケーブルに直流(DC) 12 V 系または 24 V 系電源を接続します。



### アドバイス

- 使用可能なケーブル長は、ご使用になるケーブルや設置環境により変わる場合があります。
- 無線機本体あるいはマイク分配装置の電源を入り切りしても誤動作する、またはノイズが入る場合は、ケーブルの取り回しを見直す、または短いケーブルに変更してください。

## 基本操作

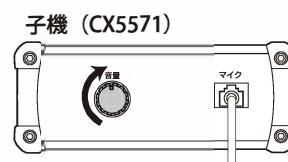
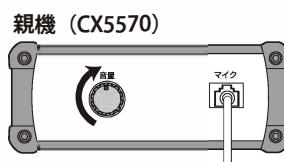
### 起動と待受および受信

- 無線機本体 (GX5570 シリーズ) のロータリースイッチを押して、無線機の電源を入れます。



※ 無線機の取り扱い方法は無線機の取扱説明書を参照ください。

- 親機および子機の音量 (電源) ツマミを右 (時計方向) に半分くらい回します。

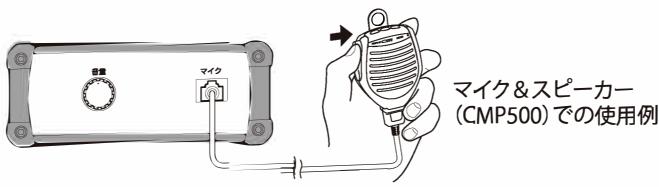


- 無線機が受信状態になると親機および子機に接続しているマイク & スピーカーより音声が outputされることを確認します。
  - マイク & スピーカー (CMP500) あるいはスタンドマイク (CSM500) で音量のアップ・ダウンおよびモニター動作可能です。

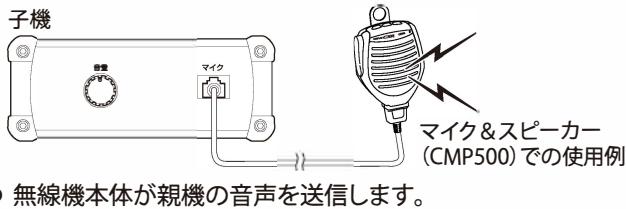
# 送信

## ■ 親機からの送信

- ① 親機に接続しているマイク&スピーカーまたはスタンドマイクのプレスキーを押します。



- 子機に接続しているマイク&スピーカーまたはスタンドマイクのスピーカーから親機の音声が output されます。



- 無線機本体が親機の音声を送信します。

- ② 送信が終わりましたらマイク&スピーカーまたはスタンドマイクのプレスキーを離します。

### アドバイス

- 親機からの音声出力を OFF するには、親機に接続されているマイク&スピーカーの●(モニターキー)とプレスキーを押しながら親機の電源を入れ直します。この時、マイク&スピーカーの送信表示(赤色)が 3 回点滅します。
- 親機からの音声出力を ON するには、親機に接続されているマイク&スピーカーの●(モニターキー)とプレスキーを押しながら親機の電源を入れ直します。この時、マイク&スピーカーの話中表示(緑色)が 3 回点滅します。

# 仕様

## 対応機種

本製品は当社指定の以下無線機とマイク&スピーカー、スタンドマイクに接続してご使用いただけます。

- 無線機 ..... GX5570 シリーズ
- マイク&スピーカー ..... CMP500
- スタンドマイク ..... CSM500

### △ 注意

- 上記以外の無線機、マイク&スピーカー、スタンドマイクに接続された場合、動作保証はいたしかねます。

# 定格

## 寸法

- 親機 ..... 151 mm × 110 mm × 61 mm  
子機 ..... 151 mm × 110 mm × 61 mm  
(幅 × 奥行き × 高さ、突起部含まず)

## 質量

- 親機 ..... 約 450 g  
子機 ..... 約 450 g

## 付属品

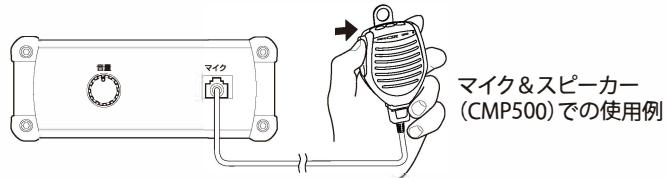
- 取扱説明書(本書) ..... 1  
保証書 ..... 1

### アドバイス

- 子機からの音声出力を ON/OFF するには、子機にて同様の操作をおこなってください。

## ■ 子機からの送信

- ① 子機に接続しているマイク&スピーカーまたはスタンドマイクのプレスキーを押します。



- 親機に接続しているマイク&スピーカーまたはスタンドマイクのスピーカーから子機の音声が output されます。
- 無線機本体が子機の音声を送信します。

- ② 送信が終わりましたら、マイク&スピーカーまたはスタンドマイクのプレスキーを離します。

# 閉局

送受信が終了して閉局する場合は、その旨を相手局(基地局または移動局)に伝えてから無線機本体およびマイク分配装置の電源を切ります。

### △ 注意

- 電源を入れたままで、LAN ケーブルを抜き差しすると、誤動作する場合があります。その様な時は、無線機本体およびマイク分配装置の電源を入れ直してください。

# 保証・アフターサービス

## ■ 保証書(別添)

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## ■ 保証期間

本体保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

## ■ 保証用性能部品の最低保有期限

弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ■ 修理に関する相談窓口

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店へお問い合わせください。

### CSR カスタマーサポート

0120-973-698  
フリーコンセント

e-mail : [wavecsr\\_support@kcsr.co.jp](mailto:wavecsr_support@kcsr.co.jp)

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)